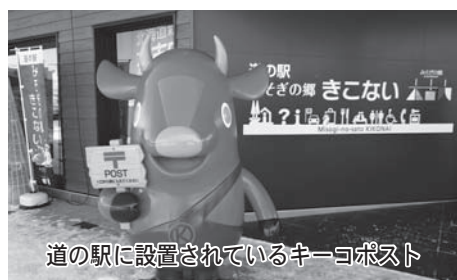


産業経済課

はこだて和牛ブランド化の今後の展開は

竹田委員 はこだて和牛については、道の駅にもキーコポストを設置するなど「木古内は和牛の郷」との印象を受けることが多くなっており、繁殖牛への助成なども行っています。今後、頭数を増やすなど、更なるブランド化を推進していく考えはないのか、町としての構想を説明してください。



道の駅に設置されているキーコポスト

大野副町長 生産頭数は、施設の規模で容易に増やすことは出来ませんが、以前にも指摘がありました「ふるさと納税の返礼品」不足を含め、町内消費等の契約頭数が倍増します。今まで以上に「はこだて和牛」が流通します。

また、繁殖雌牛導入事業については現在肥育農家4戸で行っており、今後も一定頭数を確保するため、地域一環生産を目指して繁殖農家へ繁殖牛の支援を行う方針です。

ひじきブランド化事業の現状と今後

新井田委員 ヒジキブランド化事業については、今回約730万円を予算計上しています。養殖技術の導入を確立するまで一定の期間が

必要と思いますが、現状と今後の展開を説明ください。

堺主査 今年度の状況は、種苗生産には成功しましたが、一定程度の大きさにすることがまだできていない状況です。海へ出す時期や使用用具を変えるなど試行錯誤して改良に努める予定です。

今後の成果次第で変わりますが、試験を積み重ねていき、最長で5年間の養殖事業の計画となっています。

プレミアム商品券の実施は

吉田委員 昨年のプレミアム商品券は、取扱い期間を長くして好評だったと思います。平成28年度では、今後の補正予算での計上となると思いますが、早期に実施し、なるべ

く取扱い期間を長くできませんか。

堺主査 商品券の取扱い期間は、法で半年以内と定められており、昨年はそれを最大限に活かし7月から12月まで実施しました。今後も同様な期間で考えられています。



昨年 販売日当日に列を連ねたプレミアム商品券

いています。施設の状況について説明ください。

澁谷生涯学習課長 現在は大会議室のみ暖房が入らない状況で他については故障はありません。使用するサークル関係者等には、代替室を提供するなど、支障がないよう配慮しています。

福嶋委員 老朽化していると思いますので、計画の前倒しによる修繕はできませんか。

山本総務課長 昭和53年に建設され、暖房関係等が老朽化していることは十分に認識しています。他の公共施設も同様に修繕を要することから優先度を考慮し、計画を作成していきます。

生涯学習課

公民館のボイラー修繕は

福嶋委員 公民館のボイラー修繕に係る予算がないようですが、配管の故障で一部ストロブで対応していると聞